平成 24 年 7 月 27 日

各　　位

会 社 名：　ジャパンフーズ株式会社
（コード：　2599　東証第１部）
代表者名：　代表取締役社長　　本所　良太
問合せ先：　取締役ＣＦＯ　　細井　富夫
（ＴＥＬ：　0475−35−2211）

新充填ライン　完成・稼働開始のお知らせ

昨年７月、取締役会において無菌充填ライン（炭酸・非炭酸兼用）および、ペットボトルブロー成型機の新設を決定し（2011 年７月 29 日公表済）、同年 11 月から当社工場内において、製品・資材倉庫の建設を含めた無菌充填ライン設置工事を行なってまいりましたが、このたび工事が完了し、本年７月より稼働を開始しましたので、お知らせいたします。

この無菌充填ライン（当社では「Ｅライン」と呼称）の概要は、次のとおりであります。

⑴ 製造品目：炭酸飲料・茶系飲料・果汁飲料・その他
⑵ 製造能力：容器：２８０ｍｌから２．０L のペットボトルに対応
　　能力：最高生産スピード　８００本／分
　　※１日当り約４万８千ケース、１年当り　約1,０００万ケース（５００ｍｌ入り容器）
⑶ 設備総額：約 51 億円（倉庫棟、調合・製造ラインおよびユーティリティ関連設備等を含む）
⑷ 資金調達：長期借入金（５年）および自己資金

なお、この新ラインの新設により、当社の製造能力は、既存ペットボトル・缶飲料 11 ラインの約５,０００万ケースから、12 ラインの約６,０００万ケースへと約 20%アップを見込んでおります。

この新ラインは世界最新鋭の無菌充填ラインです。その特長として、ペットボトル容器の成型から充填までを直結化することにより、飛躍的に省スペースおよび省エネルギーが可能であることと、容器の軽量化、ラベルの薄肉化にも対応した設備構成で、排出炭酸ガスが大幅に削減された環境に優しいラインであります。また、炭酸・非炭酸飲料兼用で、２８０ｍｌから２．０L までのペットボトル容器にも対応可能なマルチラインであります。

この新ラインの当社業績への影響（貢献）につきましては、平成 25 年３月期の業績予想に既に織り込み済みであり、今期計画として本年４月 25 日に公表したとおりであります。

以上

添付：新ライン写真

添付：新ライン写真

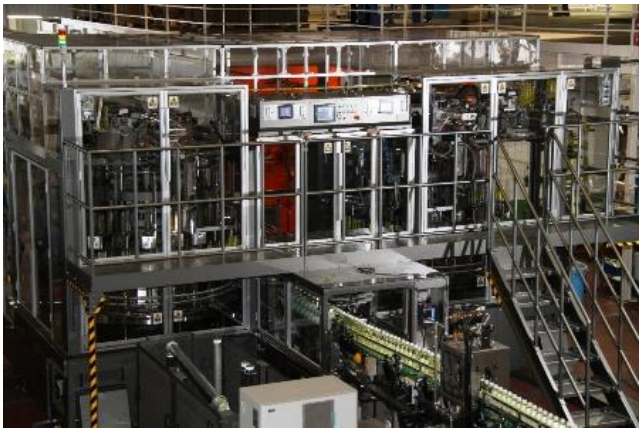
① 容器軽量化対応ボトル成型機



② 炭酸・非炭酸兼用無菌充填機



③ ラベル薄肉化対応シュリンクラベラー



④ 計装設備の一部

